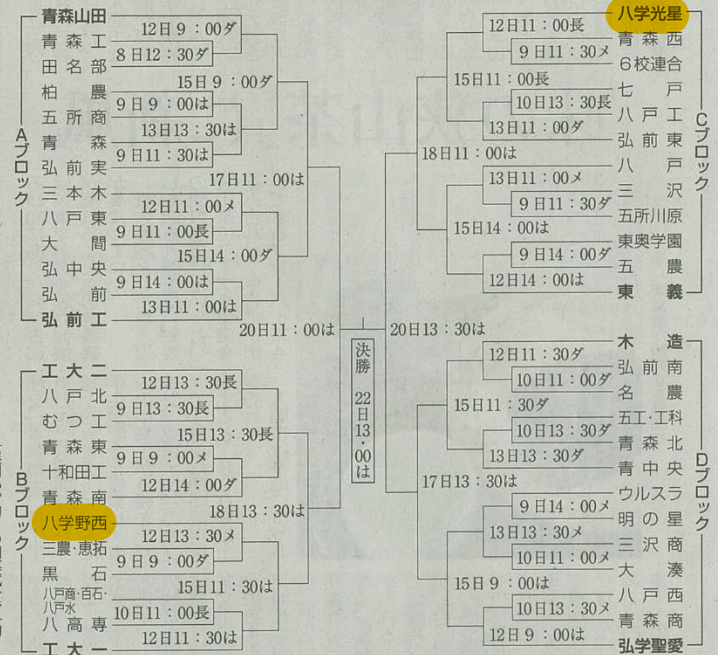


工大一、工大二同ブロック

第104回全国高校野球選手権青森大会組み合わせ

(参加校=50チーム、太字はシード)



会場

は：はるか夢球場(弘前市営) 夕：ダイシンベースボールスタジアム(青森市営)
 長：八戸市長根球場 メ：メイプルスタジアム(六戸町)

※6校連合=六戸、六ヶ所、野辺地、浪岡、板柳、松風塾

高校野球青森大会組み合わせ

開幕試合は田名部―青工

第104回全国高校野球選手権青森大会(7月8〜22日)の組み合わせ抽選会(六戸、六ヶ所、野辺地、浪岡、板柳、松風塾)が24日、青森市の青森県総合社会教育センターで行われ、出場50チームの対戦相手が決まった。春季県大会「戸水―八高専」の勝者を、

それぞれ追加攻撃。3年生選手に対しては、抽選会では、第1〜4シードチームを四隅に振り分けた後、第5シード4チームが抽選。残り4チームがフリー抽選を行い、トーナメント表が決まった。組み合わせを見ると、Aブロックは春季県大会を制した同東北4強の弘学聖愛と三沢商―大湊五工科。青森北は注目力だった。大会は7月8日に開幕し、

県南 夢の甲子園へ闘志

組み合わせ抽選に臨む(左から)八学光星の洗平歩人主将、工大一の砂頼人主将、工大二の細川憲人主将―青森市



○：春季青森県大会で上位に食い込んだ県南地方の八学光星、工大一、工大二のシード3校の主将は、それぞれの対戦相手が決まり、夢の甲子園につながる本番に向けて気を引き締めた。春3位の八学光星は順当に勝ち進め、昨夏の準々決勝で惜敗した弘学聖愛と準決勝でぶつかる。洗平歩人主将は、先を見通すように、全チームがライバルの意識で一戦一戦集中して戦う」と冷静だ。

春4位の工大一とベスト8の工大二は同ブロックに入った。順当なら各校は準々決勝で激突する。工大一の砂頼人主将は「これまでの練習と仲間を信じて、大会に臨む。兄弟校には絶対勝負に負けれない」と意気込んでいる。工大二の細川憲人主将は、昨夏の青森大会でシード校ながら初戦敗退だったことを踏まえ、「体力、精神を共に万全にして、目の前の試合を戦って二戦必勝の気構えだった。」